四倉新報

毎月二回發行日 十日 廿五日
編輯兼發行人 小林庫二
福島縣石城郡四倉町中町四十一番地
發行所 四倉新報社
福島縣石城郡平田町三十一番地
印刷所 一〇活版所
本紙定價一部十錢 月貳拾錢（年二圓）

危險極り無き磐城街道鐵道踏切の改良は刻下の急務

地方有志蹶起せよ

四倉驛より下り方面第二の踏切謂ゆる磐城街道鐵道踏切は四倉町より八莖銅山日之出石材鑛山玉山鑛泉大野村に通ずる交通頻繁なる縣道にあり其構造のよろしきを得ざる爲め常に交通車馬人に危險が伴ひ是の踏切設置以來危害を被りし者實に數千件に及ぶであらう。元來此の踏切道は鐵道敷設以前は平地なりしが鐵道建設の爲め水平面より約二十尺の高さに土堤を築き上げ踏切道と爲したる者なるが其勾配の急なる事はさながら楷段を登る樣である。行政法規の道路築造標準第二十一條道路の勾配は成る可く左の割合を超へざらしむ。第二項縣道勾配二十五分の一即ち長延一間に付き二寸四分と規定してあるが、此の踏切の勾配を見るに一間に付き三尺もあるか違反も甚だしい事である。此の危險極まる踏切を毎日目撃して居る保線區係員の職務怠慢にはあきれざるを得ないし又縣當局大いに考う可きである。最近十月六日大野村中島農會田芳松（六〇）は荷車に人糞を滿載し踏切に登らんとし中途まで引上げしが鐵道線路工夫の修理せる者と思う線路用枕木を土留めの爲め道路面に對し横に數筋を入れある物が降雨の爲め土が流出し永日是れを修理せざる爲め枕木は道路面に露出しありさながら階段の如く荷車を引き登る事は誰しも困難して居たのであるが、曾田芳松は登り切る事は出來得ず荷車は遂に車もろ共堤下の水田へ墜落し死亡したのである。

一時間に人力車荷車自動車の通交數は約五十であるが絶對安全の改良策を地方啓發の爲め當局に於て講しられ度く又此の實現を造進する意味に於て地方有志家の蹶起を促す次第である。

改良策としては踏切である個所にガードを設け暗渠を通る樣になし道路もレベルになる故に絶對安全であり鐵道としても踏切番人の必要無く一擧兩得の感がある只排水の件は如何と思ふが之れも專問家の設計に待てば考慮の余地無く要は只當局の精意の有無に依る事ならむ。

綱紀肅正の高唱さるる時

近宮巡査の告訴

事件を當局は如何す

收賄の犯跡歴然たり

近宮の親分の關係を有する某警視署長が取消運動中との奇怪の噂

元某署の刑事近宮某は〇〇署在勤中高木某より洋服一着を（背廣三ッ組）一着頂戴し高木某此の代金六十五圓也を支拂はず決極注文致す時より考慮すれば洋服代金支拂の意志は全く無く要するに近宮某と高木某の共謀にて詐欺横領せる者なりとし平區裁判所に平町土井洋服店より告訴さるゝに至つた。本社の探知する處によれば大正十三年四月頃平町土井洋服店に近宮某高木某長谷川某（俗クロ）の三名にて至り、

（クロ）曰く『同伴した人は某署の刑事さんと料理店の主人であるが今回料理店の主人から刑事に日頃色々御世話になつて居るから洋服を一着贈るので注文に來たのだから紹介する。

高木某曰く、見本を見せてもらひたい。

洋服屋主人曰く

どうも有難う御座います

高木某曰く

六十五圓の者を新調してもらひたい期日は急ぎだから一週間計りの内に出來上る樣代金は品を私方へ持參した時に渡すから

洋服屋主人曰く

御話し通りに致します

寸法を取らせて下さいと近宮某の寸法を計り約束し豫定の通り出來上り品を高木某方へ持參し是れを渡し代金を請求せるに高木某は曰く、明日迄待つてもらいたいと初めの約束を破毀し今日に亘るも遂に一文も支拂わなかつたのである。

× ×

近宮巡査は種々なる新聞紙が報導する如く在勤中は某料理店の番頭と稱せらるゝ迄に職務には不良であつた事は町民の熟知する處である。彼は常に背廣がほしくて種々なる手段を講じて居た形跡がある。一つは元某會社の專務の宅に毎日〳〵至り背廣服を一着頂戴したいと懇願して居たそうだが某は近宮の日常の行動が不見識極まると又後日に至り收賄の時實が露見するを恐れて遂に彼に與へなかつたとの話である。此の告訴事件は當然刑法の裁きを受く可きであるが高木某が洋服代金を支拂ひ示談を申出でにしても結局近宮巡査が官吏である以上收賄罪はまぬがれないと町民一般の聲である。

× ×

近宮巡査の告訴事件突發するや某警視の署長は近宮巡査が自分の子分なる爲めに當局に向ひ採消運動を爲せると云ふ奇怪なる噂が專らである國を擧げて綱紀肅正の高唱さるゝ時に當りかゝる噂は信ずべきでないが假りに採消運動があるとしても當局は國民に安心を與ふる意味に於て斷然たる處置をとる可きだ。

磐城セメント
四倉工場
稻荷大祭
來る十一月
三日執行

磐城セメント會社四倉工場にては例年の通り來る十一月二日三日の兩日同社稻荷神社の大祭を兼ねて職員職工の慰安會を催さるゝ事になつて居るが別項の如く深山な余興があるので近郷近在の評判は非常のものだから當日は豫想以上の雜踏する事であらう

二日夜の余興一午後六時より第一會場に於て活動寫眞二午後六時より第二會場に於て職員芝居三日晝の余興午前九時より午後四時迄第一會場に於て大弓庭球試合藝妓の手踊劍道試合職工芝居相撲食入勝手

以上の通りであるが三日の祭典執行順序は左の通りである

午前八時第一振鈴太鼓一般社前參集 第二振鈴社宮祭事執行技師長社員共濟會代表參拜 第三振鈴技師長挨拶 第四振鈴優良職工表彰

追而雨天の際は翌日執行す

磐城セメント販賣所!!

サン和洋銅鐵
ベルト金物問屋

良品廉賣に勝る商略なし!!!
確實敏捷は(久)の生命なり!!!

磐城平町五丁目
特約代理店
諸橋久太郎商店
振替口座東京一〇九五六
電話(長)九番 一三九番

御免蒙

四倉あだ名番附

横綱	ヘンテコ
大關	アンポン
關脇	テツペン
小結	ダンゴヤ
前頭	ヅンガラ
同	プツ
同	茶釜
同	キツネ
同	マグロ
前頭	カマノ神
同	ネズミ
同	ボタモチ
同	カンパ
同	ブラ金
同	タンカ
同	ボコ米
同	馬ハリ
同	大カメ
前頭	カワラゴ
同	ザンブチヨウ
同	アメントリ
同	ヒカミ
同	ムテ
同	女ウシ
同	・ケンダサマ
同	ゴンゼ
同	コーサク

行司	仁王樣 雷樣
取締	ドモ寅 天下ノ豪傑
勸進元	ニツポン アメリカ

横綱	タランコ
大關	チヤンカラ
關脇	オツキヨレ
小結	ダラクヤ
前頭	ボクテン
同	ベコ
同	カンナベ
同	ウサギ
同	メジロ
前頭	ドーロク神
同	ネツコ
同	ボツタセ
同	タンバ
同	マカランヤ
同	ソンカ
同	ネコヨシ
同	鬼八
同	ガンダリ
前頭	カタマリ
同	ナベツル
同	マンクラ
同	ゼンタ
同	長屋長
同	タソウシ
同	ユーゲンサマ
同	アカバ
同	カワサキ